

令和7年9月25日

山元町議会議長 菊地 康彦 殿

派遣議員 高橋真理子 丸子 直樹 品堀 栄洋
岩佐 秀一 伊藤 貞悦

議員派遣結果報告書

全国町村議会議長会主催の「令和7年度町村議会広報研修会」に出席しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

- 1 研修目的 研修を通して議員の資質向上を図る。
- 2 研修期間 令和7年8月28日（木）
- 3 研修場所 東京都渋谷区 LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）
- 4 研修内容
 - (1) 講演「インタビュー記事を足して読まれる広報誌にしよう」
講師 インタビューライター 丘村 奈央子 氏
→ インタビュー記事は、人物の声を誌面に反映させることで臨場感と説得力を生み、読者の関心を引きつける。そのような「見てもらえる」記事を作成するため、インタビュー前の準備から記事を書くテクニックについて講演があった。
 - (2) 講演「スマートフォンを活用した撮影技術・動画作成の基本」
講師 広報アドバイザー 渡川 修一 氏
→ 動画は、誌面では伝わらない人柄や臨場感を補完する手段として有効であり、スマートフォンを活用すれば、特別な機材がなくても高画質・高音質の動画制作が可能な時代である。
動画の撮影、編集方法の基本的部分から、実際に動画配信等をしている議会の活用方法について講演があった。
 - (3) 講演「議会活性化と連動した広報誌づくり」
講師 福岡県大刀洗町議会広報常任委員会委員長 平山 賢治 氏
→ 「議会だより」は究極のプッシュ型メディアであり、全戸配布される強力な情報媒体である。

また、住民の政治参加を促すツールでもあるという大刀洗議会の考え方について説明があり、実際にどのように議会だよりを完成させるのかについて講演があった。

5 ま と め

本研修を通じて、議会広報の在り方に関する多角的な視点を得ることができた。インタビュー記事の導入により、議員や関係者の声を誌面に反映させることで、住民との距離を縮め、親近感を醸成する効果が期待され、より議会を身近に感じてもらうきっかけになりえるものとする。

また、スマートフォンを活用した動画制作は、誌面では伝えきれない臨場感や人柄を補完し、広報活動の幅を広げる手段として非常に有効である。動画による発信は、若年層を含む幅広い住民層へのアプローチを可能にし、議会活動の理解促進に寄与するものと考えられる。

さらに、議会だよりを住民参加の契機とする視点は、議会の透明性と信頼性を高める上で重要であり、双方向のコミュニケーションを促進する基盤となる。議会だよりは単なる情報伝達手段ではなく、住民の政治参加を促す媒体としての役割を担うべきである。

将来、誌面と映像の特性を生かした多様な情報発信に取り組むことが考えられるが、本町議会ですぐに実践するには課題もあることから、まずは住民との対話を重視した広報・広聴活動を展開することで、より開かれた議会運営を目指していきたいと考える。